

第503回遊佐町議会定例会一般質問通告書

平成27年3月定例会

通告順	通 告 者	質問事項	要 旨
1	10番 斎藤弥志夫 (一問一答)	<p>1. 介護報酬の引き下げ</p> <p>2. まちづくりセンター</p>	<p>2015年度の介護報酬改定のあらましは、認知症や中程度の要介護の高齢者が地域で暮らし続けられるよう在宅支援に重点を置く、人手不足の解消に向け、職員賃金が1人当たり平均月1万2000円上がるよう処遇改善加算を行う、平均単価は2.27%引き下げるなどである。</p> <p>現状と今後の介護の問題について伺う。</p> <p>1、介護が必要な高齢者がとてつもなく増える。</p> <p>2、介護の仕事に就く人が圧倒的に足りない。</p> <p>3、介護に使えるお金が圧倒的に足りない。</p> <p>4、賃金を月1万2000円アップすることで離職を食い止めるのか。</p> <p>高瀬と蕨岡のまちづくりセンターのあるべき姿と将来の展望をどのように考えているのかを伺う。</p>
2	12番 那須 良太 (一問一答)	1. 町の基幹産業を支える新しい産業を掘り起こす考えについて伺う	<p>町村合併を見送り自立を続ける遊佐町。少子化が進む中、人口動態のバランスを今後どう図る考えか。</p> <p>若者が定住するには、地域に雇用の場が第一条件であり定住だけには限度がある。平成5年頃のバブル景気時代には(町づくりは人づくり)と言われていたが、現在は町づくりは雇用の場づくりと、県でも大学との協同体を組みモノづくりを開発する地域には支援をすとの新聞報道がされており、本町としても不可欠な課題と考える。</p> <p>町長の町おこしの考えを伺う。</p>
3	6番 阿部 満吉 (一問一答)	1. 岩石採取地について	<p>①平成26年の採取計画に対して採取量は。</p> <p>②平成27年の採取計画は。</p> <p>③公有地化に向けた交渉は進んでいるか。</p>

通告順	通 告 者	質問事項	要 旨
3	6番 阿部 満吉 (一問一答)	2. パーキングエリアタウン構想は	①計画の進捗度は。(完成のめど) ②パーキングエリアは働く場を作ること。今の株式会社や組織にとらわれず、新感覚で基礎から、創り変えるべき。
4	13番 伊藤マツ子 (一問一答)	1. 岩石採取をめぐる問題について	これまでの経過等について
5	5番 赤塚 英一 (一問一答)	1. 情報の扱いに対する考え方は	情報の収集や分析、発信についてハード、ソフト共にその環境は改善されていないように思う。 これまでの取り組みと課題、将来に向けての考え方を伺う。
6	11番 堀 満弥 (一問一答)	1. 人口減少社会におけるまちづくりは	○一人暮らしや高齢者だけの世帯が増加するこれらの状況への対応は。 ○遊佐町1小学校に統合する跡地利用として高齢者が共同で営まれる施設に活用することは。 ○町民に将来を考える機会として町の考え、方向性は。
		2. 若者定住と町営住宅建設は	若者が住みたくなる住宅など具体的な状況は。 ①どんな場所 ②どのような仕様の ③いつ頃まで ④若い人達の意見の聴取は

通告順	通 告 者	質問事項	要 旨
7	1 番 筒井 義昭 (一問一答)	1. 「水源の里条例」を視野に入れた地域活性化策を 2. 育てる漁業推進に向けた放流事業の拡充を	「水源の里」とは限界集落を意味するが、急激な人口減少と高齢化が進む我が町にとっては、他人事ではない。人・土地・村の空洞化を防ぐ為にも「集落応援プログラム」の創設を。 栽培事業としてアワビ・クロダイ・ヒラメ・イワナの放流事業が進められているが、放流事業の拡充を求めると共に、放流魚種の追加を含めた漁業振興策を検討すべきではないか。
8	7 番 佐藤 智則 (一問一答)	1. 頑張れ本町教育行政に期待	時代変遷における教育行政の変転を見る都度思い浮かぶことは、あの「米百俵の精神」小林虎三郎の人づくりは国づくりの礎とする精神が去来する。教育の現状において、めまぐるしく変様する昨今、教育委員会に期することは大きいと考える。 教育行政と云っても広範なことでもあり、下記のことについて質問する。 1、教育委員会制度改正について 2、特別支援教育全般について